

事業シート(令和6年度決算)

事業名	20900 総合計画推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
						款	2	総務費			ポイント			
						項	1	総務管理費		分野別	政策分野	着実な計画の推進	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつでも住み続けることができる環境を整備します 等
						目	9	企画費			施策分野	計画推進		
担当課	総合政策部総合政策課、市民活動部協働推進課	内線	2434											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。 ・近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。 ・年齢、性別、障がいの有無などに関わらず誰もが安心して暮らせる環境を整える。 ・地方創生を推進する。	概要	・市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行う。 ・政策コーディネーターの設置やたかやま共創ミーティングの開催により、市政全般における政策立案、形成をすすめる。 ・若者や女性活躍に向けた活動支援や事業調整を行う。 ・高山市SDGs未来都市計画に基づきSDGの推進を図る。 ・飛驒・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。 ・県及び飛驒3市1村が連携して飛驒・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。 ・ユニバーサルデザインに配慮された施設の認定や啓発資料の活用等により、誰にもやさしいまちづくりを推進する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	51.4%	54.7%	↗
誰にもやさしいまちづくり条例に基づく認定件数(累計)	85件	86件	100件
事業評価の実施	380事業	385事業	－

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		34,429	31,895	28,265	27,857	24,562	△ 7,333
特定財源	国費 ()						
	県費 (SDGs推進事業費 1/2)	2,200	1,357	1,600	1,600	962	△ 395
	その他(飛驒高山ふるさと基金繰入金)	9,000	9,000	2,000	2,000	2,000	△ 7,000
一般財源		23,229	21,538	24,665	24,257	21,600	62
新規・拡充	主な事業内容						
○ 1	総合計画の進捗管理(第九次総合計画の策定)	10,561	10,387	4,242	3,887	2,841	△ 7,546
	SDGsの推進	4,405	2,907	3,200	3,200	1,997	△ 910
	政策コーディネーターの設置	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	0
○ 2	地域力創造アドバイザーの設置			6,100	6,100	5,809	5,809
	たかやま共創ミーティングの開催	200	118	200	200	126	8
	飛驒・世界生活文化センター活用推進協議会への参画	7,900	7,618	7,900	7,900	7,541	△ 77
○ 3	若者の主体的な活動に対する助成	2,000	2,052	2,200	2,200	1,956	△ 96

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・総合計画審議会の開催(1回)、第九次総合計画の策定に向けた調査分析等の実施、市民・団体アンケートの実施、市民意見交換会の開催(50回)、事業評価・施策評価の実施、実施計画のローリング ・飛驒・世界生活文化センター活用推進協議会事業に25,022人が参加・来場 ・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回)、市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付 ・総合教育会議の開催(2回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回) ・飛驒高山SDGsウィークの開催、SDGsパートナー登録事業者の情報発信・マッチング支援の実施 ・政策コーディネーターの設置 ・たかやま共創ミーティングの開催(6テーマ) ・若者活動支援事業補助金の創設、11団体を支援 ・市内の城跡を調査し、まちづくりへの活用に向けた可能性を調査
評価等	・第九次総合計画の策定に向けて、委託事業者の見識を活かした調査分析、様々な手法による意見聴取、評価検証等を実施し、策定のための資料を整えた。 ・たかやま共創ミーティングや政策コーディネーターの設置など、政策形成に向けた新たな手法を導入することにより、市民提案の政策への反映、北海道東川町や一般財団法人ひだ財団との連携協定の締結などにつなげることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・調査分析、市民意見聴取等の結果を踏まえ、第九次総合計画の策定をすすめる。 ・一般財団法人ひだ財団など、行政以外のセクターとの連携強化を図る。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・総合計画審議会の開催(諮問・答申含む)(3回)、第九次総合計画(基本計画・実施計画)の策定、市民・団体アンケートの実施、市民意見交換会の開催(対面5回、動画視聴800回)、事業評価の実施 ・飛驒・世界生活文化センター活用推進協議会事業に38,080人が参加・来場 ・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催(1回)、市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付 ・総合教育会議の開催(1回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回) ・飛驒高山SDGsアクションデイズの開催、SDGsパートナー登録事業者の情報発信・マッチング支援の実施 ・政策コーディネーターの設置 ・たかやま共創ミーティングの開催(5テーマ) ・若者活動支援事業への助成、11団体を支援 ・地域力創造アドバイザーの活用
評価等	・第九次総合計画について、市議会特別委員会との段階的な協議を行うとともに、場所や時間を選ばず意見を出せるよう動画やオンラインの活用による市民説明会、総合計画審議会の諮問・答申を経て、策定した。 ・たかやま共創ミーティングや政策コーディネーターの設置、地域力創造アドバイザーの活用など、政策形成に向けた手法を活用することにより、市民提案の政策への反映、幅広い知見を有する方からの助言等による取組みへの反映などにつなげることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・第九次総合計画に掲げる施策、実施計画の進捗を図る。 ・引き続き、一般財団法人ひだ財団など、行政以外のセクターとの連携強化を図る。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	15,927
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
15,927	15,927	15,927	△ 12,338
1,600	1,600	1,600	0
			△ 2,000
14,327	14,327	14,327	△ 10,338
査定額	説明		
494			
3,200			
3,600			
7,900			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・たかやま共創ミーティングの開催手法の見直し ・地域力創造アドバイザーの終了 ・若者の主体的な活動に対する助成を20960若者活動支援事業費へ移行
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	20900 総合計画推進事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合政策課
			☒ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
			☐ その他重要事業			項	1	総務管理費		
			☐			目	9	企画費		
枝番・内容	1 総合計画の推進								内線	2434
									作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。	概要	・各分野の代表者で構成する審議会の開催により、総合計画の策定に関する必要事項について調査・審議する。 ・令和7年度からの新たな第九次総合計画を策定する。
----	----------------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)		
予算額	当初	10,634
	繰越	
	補正等	△ 73
	最終	10,561
決算額		10,387
対前年度増減額(決算)		10,070

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)		
予算額	当初	4,242
主な経費	・委員報酬	
	・調査分析業務委託	
	・市民アンケート	
	・団体アンケート	
対前年度増減額(当初予算)		△ 6,392

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)		
予算額	当初	4,242
	繰越	
	補正等	△ 355
	最終	3,887
決算額		2,841
対前年度増減額(決算)		△ 7,546

R7当初予算(Action)

(千円)		
予算額	当初	494
主な経費	・委員報酬	
	・市民アンケート	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,748

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・総合計画審議会の開催(1回) ・調査分析業務の委託 第八次総合計画の評価(外部評価) 高山市の将来人口の推計・分析 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析 ほか ・市民アンケートの実施 ・団体アンケートの実施 ・総合計画策定に向けた意見交換会の開催(50回)		
[評価等] ・第九次総合計画の策定に向けて、委託事業者の見識を活かした調査分析、様々な手法による意見聴取、評価検証等を実施し、策定のための資料を整えた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・調査分析、市民意見聴取等の結果を踏まえ、第九次総合計画の策定をすすめる。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 第九次総合計画策定に向けた準備 ・総合計画審議会の開催 ・調査分析業務の委託 第八次総合計画の評価(外部評価) 高山市の将来人口の推計・分析 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析 ほか ・市民アンケートの実施 ・団体アンケートの実施	
[スケジュール] R6.6月～R7.3月 調査分析の実施 適宜 総合計画審議会の開催、市民・団体アンケートの実施	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・総合計画審議会の開催(諮問・答申を含む)(3回) ・市民アンケートの実施 ・総合計画策定に向けた市民説明会の開催(対面5回、動画視聴800回) ・計画書デザインの委託、印刷		
[評価等] ・第九次総合計画を策定するとともに、市民にわかりやすく理解いただくために、専門事業者によるデザインを取り入れた概要版の作成、計画書本編の印刷、周知動画の制作等、新たな試みを取り入れた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・第九次総合計画の着実な進捗を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 第九次総合計画の進捗・管理 ・総合計画審議会の開催 ・市民アンケートの実施	
[スケジュール] R7.6月 市民アンケートの実施 R7.10月 総合計画審議会の開催	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	20900 総合計画推進事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合政策課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	2 地域力創造アドバイザーの活用		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2434
			☐			目	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・総務省の地域人材ネットを活用し、外部専門家(地域力創造アドバイザー)による助言・指導を受け、地域独自の魅力や価値の向上に取り組み、地域力を高める。	概要	・地域力創造アドバイザーの招へい、活用
----	--	----	---------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

予算額	当初	6,100
主な経費	・地域力創造アドバイザー委託ほか	
対前年度増減額(当初予算)		6,100

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

予算額	当初	6,100
	繰越	
	補正等	
	最終	6,100
決算額		5,809
対前年度増減額(決算)		5,809

R7当初予算(Action)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・地域力創造アドバイザーの活用 岐阜県をはじめ豊富な自治体マネジメント経験を持ち、国や関係団体との連携が期待できる、総務省地域力創造アドバイザーである平木氏を招へいし、地域振興をはじめ幅広く助言、支援を受ける。 ≪平木 省(ひらき しょう)氏 プロフィール≫ 青山社中株式会社取締役COO 前岐阜県副知事、元総務省自治財政局財務調査課長 ≪地域力創造アドバイザー≫ 地域独自の魅力や価値の向上に取り組むことで、地域力を高めようとする市町村が、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招へいし、指導・助言を受けながら取組を行う場合の外部専門家に関する情報提供及び招へいに必要な経費について総務省が支援する制度	
[スケジュール] ・R6.4～ 地域力創造アドバイザーによる調査、助言・指導	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・地域力創造アドバイザーの招へい、活用 7回11日間、市内において活動 地域振興施策の検討対象の地域として南高山地域への訪問・ヒアリングのほか、各分野(流通、医療、大学連携、木工・森林、観光・コンベンション、交通・鉄道、商工会議所)の有識者からのヒアリング、市内若手経営者等との意見交換、市長、副市長、教育長はじめ市幹部職員等との意見交換等を実施 [評価等] ・南高山地域における地域振興策、個別分野における各施策の提案などを豊富な経験から具体的な知見を盛り込んだ報告があった。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・地域や各分野におけるステークホルダーによる取組みの促進を図る。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	20900	総合計画推進事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民活動部 協働推進課
				☒ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	3	若者の自主的な活動に対する助成(ひだ財団との連携)		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2392
				☐			目	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・若者が地域でやりがいと生きがいをもって活躍できるまちづくりをすすめる。	概要	・地域の課題解決などを目的とした若者の自主的な活動に対する助成を行う。
----	--------------------------------------	----	-------------------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

		(千円)
予算額	当初	2,000
	繰越	
	補正等	
	最終	2,000
決算額		2,052
対前年度増減額(決算)		2,052

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

		(千円)
予算額	当初	2,200
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

		(千円)
予算額	当初	2,200
	繰越	
	補正等	
	最終	2,200
決算額		1,956
対前年度増減額(決算)		△ 96

R7当初予算(Action)

		(千円)
予算額	当初	2,200
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
若者の自主的な活動に対する助成 11件(団体)		
[評価等]		
・助成制度の創設により、若者によるイベントや活動が市内各地で展開された。		
・助成団体間での情報交換や課題共有に向けた報告会等を開催し、ハッシュタグによる連携したPR、団体間での困りごとの解決などの場をつくることができた。		
・補助金といった財政的な支援のほか、相談支援や活動の持続化に向けた伴走などの支援が求められている。		
次年度以降の考え方(担当課)	・一般財団法人ひだ財団など、行政以外のセクターとの連携による複層的な支援を検討する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・若者の自主的な活動に対する助成	
・対象団体:補助申請時点で35歳未満の若者で構成される団体	
・補助額:1事業につき上限20万円(補助率10/10)	
○ひだ財団との連携による事業実施	
令和5年8月に設立された岐阜県内初のコミュニティ財団である一般財団法人ひだ財団と連携により事業を実施。	
ひだ財団:申請窓口の運営、補助金の支給、報告会の開催	
高山市:ひだ財団に対し資金提供(補助)	
[スケジュール]	
・R6.4～ 事業実施	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
若者の自主的な活動に対する助成 11件(団体)	
[評価等]	
・若者によるイベントや活動が市内各地で展開された。	
・助成団体間での情報交換や課題共有に向けた報告会等を開催し、ハッシュタグによる連携したPR、団体間での困りごとの解決などの場をつくることができた。	
・一般財団法人ひだ財団との連携により事業を実施することで、活動に寄り添った伴走型の支援が実施できた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・地元高校生の活動が活発になっており、新たな支援を検討する。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・若者の自主的な活動に対する助成	
・対象団体:補助申請時点で35歳未満の若者で構成される団体	
・補助額:1事業につき上限20万円(補助率10/10)	
※20960若者活動支援事業費へ移行 (市民活動部協働推進課へ所管替え)	
[スケジュール]	
・R7.4～ 事業実施	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	20930 大学連携推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
					項	1	総務管理費			政策分野	2	こども・教育・交流		
					目	9	企画費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	総合政策部 総合政策課		内線	2434										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・大学との連携の強化を図り、若者(市外学生)のUターンや地元定着を促進する。 ・大学の持つ高度かつ専門的な知見を活用し、当市における政策形成能力を向上させる。 ・大学連携による地域産業の活性化やブランド力の強化を図る。	概要	・大学連携センターの設置・運営に対する助成 ・大学連携センターへの調査研究業務の委託 ・連携大学等との検討会議の開催 ・連携大学等が活用できるサテライトキャンパスの設置・運営
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		17,110	15,982	17,690	19,190	18,172	2,190
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		17,110	15,982	17,690	19,190	18,172	2,190
新規・拡充	主な事業内容						
	大学連携の推進(大学連携センターに対する助成)	12,000	10,950	13,600	15,100	14,207	3,257
	大学と連携した調査、サテライトキャンパスの設置	4,990	4,932	4,020	4,020	3,931	△ 1,001

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・大学活動を誘致する大学ミッション事業により38大学、大学教授や学生を3,002人受け入れ、リモートによる講義・報告会に123人が参加 ・市内における大学活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援を行った(37大学 1,634人泊分を助成) ・持続可能な観光まちづくりに向けた取組みなど、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進 ・飛騨地域をフィールドに調査研究を行う大学関係者や地元高校生が集い、研究成果等を発表する「第5回～繋がるキャンパス～飛騨高山学会」を開催 来場者約430人、ライブ映像視聴者延べ約320人
評価等	・大学連携センターによる大学活動への支援により学生を、高山へ呼び込むとともに、大学関係者と市民とを繋ぐことができた。 ・大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。 ・飛騨高山学会の開催により、研究成果等が広く共有されるとともに、大学の教員や学生、地元高校生、企業など参加者相互の交流・連携が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研究、市の施策形成への活用を進める。 ・飛騨高山大学連携センターと連携しながら、市内における大学活動の積極的な誘致を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R3完了 ☐ R4完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・大学活動を誘致する大学ミッション事業により49大学、大学教授や学生を5,384人受け入れ、リモートによる講義・報告会に137人が参加 ・市内における大学活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援を行った(63件3,397人泊分を助成) ・持続可能な観光まちづくりに向けた取組みなど、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進 ・飛騨地域をフィールドに調査研究を行う大学関係者や地元高校生が集い、研究成果等を発表する「第6回～繋がるキャンパス～飛騨高山学会」を開催 来場者約440人、ライブ映像視聴者延べ約550人 ・民間事業者と大学等が連携し新製品や新サービス等の研究開発に要する費用を助成
評価等	・大学連携センターによる大学活動への支援により学生を、高山へ呼び込むとともに、大学関係者と市民とを繋ぐことができた。 ・大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。 ・飛騨高山学会の開催により、研究成果等が広く共有されるとともに、大学の教員や学生、地元高校生、企業など参加者相互の交流・連携が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研究、市の施策形成への活用を進める。 ・飛騨高山大学連携センターと連携しながら、市内における大学活動の積極的な誘致を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	19,770
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
19,770	19,770	19,770	2,080
19,770	19,770	19,770	2,080
査定額	説明		
15,700			
4,000			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	20960 若者活動支援事業費 (旧:若者等活動事務所管理事業費)	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
			款	2	総務費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
			項	1	総務管理費		分野別	政策分野	2	子ども・教育・交流	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 若者の自主的、主体的な取り組みを支援します
			目	9	企画費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	総合政策部 総合政策課	内線	2434									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、飛騨高山への誇りと愛着を育む。 ・伝統的建造物群保存地区及び周辺の景観に配慮された美しい町並みを維持する。	概要	・村半(若者等活動事務所)の管理運営を行う。 ・若者の自主的な活動に対する助成を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		6,795	5,329	5,250	5,196	4,217	△ 1,112
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	3,100	3,100	4,000	4,000	4,000	900
一般財源		3,695	2,229	1,250	1,196	217	△ 2,012
新規・拡充	主な事業内容						
	施設の管理運営	6,795	5,329	5,250	5,196	4,217	△ 1,112
	若者の主体的な活動に対する助成						
	高校生の主体的な活動に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	8,550
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
8,750	7,450	8,550	3,300
		4,000	0
8,750	7,450	4,550	3,300
査定額	説明		
5,250			
2,200			
1,100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・来所者数 27,955人(1日平均90人)、開所からの延べ81,848人 ・利活用検討会の開催(5回)
評価等	・市内高校生や中学生の自主学習での利用のほか、若者が自発的に活動している各種プロジェクトの打合せなど様々な目的で利用されている。 ・県内外からの視察や教育旅行の受入れなど、市のPRの場所としても活用が図られている。 ・地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、地域の季節行事に参加させていただくなど、良好な関係を築くことができている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R2完了 ☐ R3完了予定 ・更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・来所者数 27,198人(1日平均88人)、開所からの延べ109,046人 ・利活用検討会の開催(4回)
評価等	・市内高校生や中学生の自主学習での利用のほか、若者が自発的に活動している各種プロジェクトの打合せなど様々な目的で利用されている。 ・県内外からの視察や教育旅行の受入れなど、市のPRの場所としても活用が図られている。 ・地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、地域の季節行事に参加させていただくなど、良好な関係を築くことができている。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。

担当課 予算要求 ポイント	・若者等活動事務所管理事業費から名称変更 ・若者の主体的な活動に対する助成を20900総合計画推進事業費より移行し、高校生による地域課題解決に向けた助成の拡充に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・高校生の主体的な活動に対する助成は、他の補助金制度で対応するよう査定
市長査定 の考え方	・積算内容を精査 ・高校生の主体的な活動に対する助成に必要な経費を計上

事業シート(令和6年度決算)

事業名	20980 高山駅西地区まちづくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	都市基本計画、教育振興基本計画、地域福祉計画	
					款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します	
					目	9	企画費			施策分野	(1)	土地利用・都市計画			
担当課	総合政策部 総合政策課		内線	2443											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・「ふれあい×にぎわい×つながり ～市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心ははずませる駅西エリア～」をコンセプトとして高山駅西地区のまちづくりをすすめ、市全体の活力につなげる。	概要	・高山駅西地区における複合・多機能施設等の整備をすすめる。
----	---	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		16,400	11,014	25,020	25,020	23,959	12,945
特定財源	国費 (高山駅西地区まちづくり推進事業費 1/3、1/2)		5,390				△ 5,390
	県費 ()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			12,000	12,000	12,000	12,000
一般財源		16,400	5,624	13,020	13,020	11,959	6,335
新規・拡充	主な事業内容						
	高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画の策定	16,400	11,014				△ 11,014
○ 1	高山駅西地区複合・多機能施設整備に係る事業者選定			24,820	24,820	23,694	23,694
	高山駅西地区複合・多機能施設の整備						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・複合・多機能施設整備基本計画策定に向けた調査の実施 ・高山駅西地区まちづくり検討会議の設置・運営(計4回) ・高山駅西地区複合・多機能施設整備計画の策定(R6.5)
評価等	・高山駅西地区において新たに整備を行う、複合・多機能施設及び立体駐車場の機能や規模、位置、事業手法などを整理、とりまとめることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・高山駅西地区における複合・多機能施設の整備等に向け、事業者選定をすすめる。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・高山駅西地区複合・多機能施設運営者選定委員会の設置、開催(2回) ・高山駅西地区複合・多機能施設の運営予定者の公募、選定(応募 2団体) ・地質調査の実施(2箇所)
評価等	・高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画で定めた事業手法(運営者先行選定方式)に基づき、運営予定者とする団体を選定した。 ・地質調査の実施により、建設予定地として十分な地盤を有することを確認した。
次年度以降の考え方(担当課)	・今回選定した運営予定者の助言を踏まえて、設計施工(DB)を行う事業者の選定を進める。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	12,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
181,500	12,500	12,500	△ 12,520
34,000			
		6,000	△ 6,000
147,500	12,500	6,500	△ 6,520
査定額	説明		
8,200	施設整備等事業者選定支援業務委託等		
4,000	設計・施工支援業務委託		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・高山駅西地区複合・多機能施設の整備(運営予定者による設計・施工支援)に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	20980 高山駅西地区まちづくり推進事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総合政策部 総合政策課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 高山駅西地区複合・多機能施設整備に係る事業者選定		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費		
			☐			目	9	企画費		
									内線	2443
									作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・「ふれあい×にぎわい×つながり ～市民んお夢や願いをかなえ、笑顔と心をはずませる駅西エリア～」をコンセプトとして高山駅西地区のまちづくりをすすめ、市全体の活力につなげる。	概要	・高山駅西地区における複合・多機能施設等の整備をすすめる。
----	--	----	-------------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

予算額	当初	24,820
主な経費	・施設整備等事業者選定支援業務委託(R6-7継続費) ・事業者選定委員会に係る経費	
対前年度増減額(当初予算)		24,820

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

予算額	当初	24,820
	繰越	
	補正等	
	最終	24,820
決算額		23,694
対前年度増減額(決算)		23,694

R7当初予算(Action)

予算額	当初	8,200
主な経費	・施設整備等事業者選定支援業務委託(R6-7継続費) ・事業者選定委員会に係る経費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 16,620

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	25100 統計調査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	
					款	2	総務費			ポイント			
					項	5	統計調査費		分野別	政策分野	着実な計画の推進	市長公約	
					目	1	統計調査費			施策分野	計画推進		
担当課	総合政策部 総合政策課		内線	2434									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・統計的視点から市の現状を理解する。 ・統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する。 ・政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る。 ・各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。	概要	・統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する。 ・各種統計における高山市に関する数値を取りまとめ、「高山市のあらまし」として公表する。 ・国・県が実施主体となる各種統計調査を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		140	114	10,077	9,924	8,578	8,464
特定財源	国費 ()						
	県費 (統計調査員確保対策事業費 等)	27	27	9,964	9,811	8,501	8,474
	その他 ()						
一般財源		113	87	113	113	77	△ 10
新規・拡充	主な事業内容						
	事務費	140	114	140	140	104	△ 10
	経済センサス(毎年)			10	10	0	
	国勢調査(R7調査実施(5年に1度))			80	80	25	25
	農林業センサス(R6調査実施(5年に1度))			8,810	8,657	7,477	7,477
	全国家計構造調査(R6調査実施(5年に1度))			1,037	1,037	972	972

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	350
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
350	350	350	△ 9,727
237	237	237	△ 9,727
113	113	113	0
査定額	説明		
140			
180			
30			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・統計調査員研修会の開催(20名) ・「高山市のあらまし」の印刷・発行(100部)、市ホームページでの公表
評価等	・各種啓発により統計調査員を確保することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。 ・「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R3完了 ☐ R4完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・統計調査員研修会の開催(20名) ・「高山市のあらまし」の印刷・発行(80部)、市ホームページでの公表 ・経済センサス、農林業センサス及び全国家計構造調査の実施、国勢調査(R7)の準備
評価等	・各種啓発により統計調査員を確保することができた。 ・受託した国(県)の各種統計を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	・統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。 ・「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり